



# 第三中学校だより

学校教育目標 **気づき・考え・挑戦する** ～新時代を生きる力を創造する～

校 訓

○健康な体

○豊かな心

○たゆまぬ学習

令和7年10月6日発

## 「〇〇の秋」

校長 鈴木冬樹

早いもので、2学期始業式から1ヶ月が過ぎました。9月もまだまだ暑い日が続きました。9月と言えば、ひと昔前は、残暑と呼ばれていたように思います。現在は、猛暑日になる日もあり、熱中症も心配されました。そのような中、9月から新人戦が始まりました。1、2年生が中心の体制で臨む最初の大会であり、日頃の練習の成果を発揮する機会でした。多くの競技を観戦しましたが、どの会場でも生徒が一生懸命に、最後まであきらめることなく試合をしている様子が見られました。この後、県大会へと進む部活もあります。三中生として、朝霞地区の代表として、大いに活躍することを期待しています。スポーツに関する話をひとつします。



令和7年10月2日 新座市営球場

「スポーツマンシップ」という言葉があります。大会の宣誓でも使われる言葉です。その言葉の意味を調べてみると、①Respect：相手、仲間、ルール、審判などに対する尊重、②Challenge：リスクを恐れず、責任を持って決断する勇氣、③Enjoy：勝利を目指し、自ら全力を尽くし楽しみぬく覚悟とありました（日本スポーツマンシップ協会より）。他に、「フェアプレー」という言葉もあります。意味を調べると、①運動競技での正々堂々たるふるまい、②公明正大な行為、態度とありました（広辞苑より）。普段から使っている言葉ですが、競技を観戦していると改めて、その大切さを実感することができました。相手を尊重する態度、すなわち「思いやり」を持って相手に接することが競技を成立させてくれます。競技は、1人では成り立たないの言うまでもありません。チームメイトやペアの選手、相手のチームやペアの選手、審判の方や運営している先生方、応援してくれている保護者の方。誰が欠けても成立しないと思います。生徒の皆さんにいつも話している「思いやりを持つこと」が、スポーツの場面でも活かしているのです。今後も、あらゆる機会・場面において、「思いやり」を持てる生徒になってほしいと思います。

最後に、「秋といえば」と聞かれれば何を思い浮かべるでしょうか。私は、「スポーツの秋、行楽の秋、食欲の秋、読書の秋、芸術の秋」などを想像できました。所説ありますが、それぞれに意味もあるようです。スポーツなら東京オリンピック、行楽なら紅葉、食欲なら収穫、読書なら秋の夜長、芸術なら展覧会などとなります。「秋」は、何をするにも良い季節と思います。ぜひ、皆さんも小さな目標を立てる方法として「〇〇の秋」を考えてみてください。人は目標があるから頑張ることができます。大きな目標では挫折してしまいがちですが、小さな目標だと達成することができ、達成感を味わうこともできます。授業もこの方法を取り入れています。小さな目標（本時の課題）を設定し、解決する学習活動を通して、大きな目標（単元の課題）を解決する授業を実践しています。生徒の皆さんは、日頃からこの方法で学んでいるのです。ぜひ、学習に限らず、生活目標でも、部活動の目標でも大丈夫です。「〇〇」に入る目標を探してみてください。



令和7年9月29日～  
新人戦、各会場にて